

<研究名称>

放射線技師による検診マンモグラフィの読影精度の評価

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 放射線技師長 市川 仁

実施担当者 放射線技師 福屋 香菜子

<研究期間>

倫理委員会承認日～2024年12月まで

<診療・研究の目的>

日本では厚生労働省が定めたがん検診の精度管理指標の1つであるプロセス指標（要精検率、がん発見率、陽性反応的中度（以下PPV））があり、各々基準値が設定されている。本研究では当院放射線技師による検診マンモグラフィ（以下MMG）の読影（以下技師読影）のプロセス指標を求め、基準値と比較し技師読影の精度を評価することを目的として、後ろ向きに検討を行う。また、技師読影で偽陽性となった症例についてMMG所見内容を後ろ向きに検証する

<実施内容（方法）>

①プロセス指標の算出

対象は2021年4月1日から2024年3月31日の期間、当院の検診MMGを受けた2935例とする。技師読影は、当院でMMGを担当している6名が行う。プロセス指標は、技師読影でカテゴリ3以上とした110例について、針生検にて乳癌であった症例を計数し算出する。

②偽陽性症例のMMG所見内容の検証

前述の110例のうち、精査で超音波検査（以下US）を行い悪性所見が認められなかった症例の所見内容と、MMGの技師読影の所見内容を比較し検証する

<危険性（副作用）等>

既存の情報を用いた後ろ向き研究であるため、危険性や副作用等はない

<倫理上問題になると考えられる事項>

患者情報は目的以外に使用しない。個人が特定される情報は論文・抄録に記載しない

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 放射線技師 福屋 香菜子 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648